



学校だより



千葉市立みつわ台北小学校
千葉市若葉区みつわ台3-5-1

「自ら学ぶ意欲を持ち健康で思いやりのある児童の育成—生き生きと楽しく学び合える学校—」
○頭の元気なみつ北っ子 ○心の元気なみつ北っ子 ○体の元気なみつ北っ子

多様な体験を通しての人格の醸成

校長 中山 宏志

梅雨空と猛暑の日が交互に訪れ、体調管理に悩ませられる日々が続いています。梅雨明けを望みたいような、いや猛暑も困ると心が揺らぐ日々です。

6月は、引き渡し訓練、校外学習（3年）、農山村留学、げんき交流会、表現運動発表会、学習参観等の多くの体験・学習がありました。ご協力、ありがとうございました。

□農山村留学（6年生が参加）

6月14日より3日間、鴨川青少年自然の家を拠点として活動しました。雨に悩まされましたが、カッター体験、花火など、予定通り実施できました。中日の15日は鴨川シーワールドに行きました。当日は「千葉県民の日」のため千葉市以外の小中学生は学校休業で入場料無料でした。雨、大変な盛況によるお土産渋滞に挫けず長い滞在時間を満喫しました。



□千葉市小学校表現運動発表会（4年生が参加）

本校を会場にして近隣3校の4年生代表を招いて実施しました。どのグループも思いを独創的に心の動くまま表現していました。本校の4年生は1番手の重圧の中、会場を広く用いて、のびのびと演じていました。前々日の壮行会にいらした4年保護者の皆様ありがとうございました。



15日には夏休みになります。「コロナ後」となりましたので暑さに負けず、夢中になれる体験や経験をしてほしいものです。早々にある個人面談で成長を目指して担任と十分に情報交換をしてください。

□学校警察連絡会から・・・迷惑行為や自転車等危険行為、行方不明案件について

補導少年数は512人で昨年比283人減ですが、小学生の割合が全体の57%です。内訳は、

○迷惑行為が182人で最多：「商業施設内フードコートでの長時間利用」が激増

○自転車等危険行為も多い：「スマートフォンを操作しながらの運転」、「信号無視」、「二人乗り」、「無灯火」、「道路に広がっての走行」など

行方不明案件の原因は、「男子は親からの叱責（親子関係）」、「女子は友達がいらない（友人関係）」で、SNSで相談相手を求め、遠方まで行くことが増えているとのことです。

自転車乗車時のヘルメット着用が4月より努力義務となっています。交通事故は「信号のない交差点」、「昼から夕方（学校帰り～遊び中）」に多い傾向にあるので、事故防止のためにご家庭で今一度、交通规则について話し合いの場をもつていただけたら幸いです。

夏休み中は不審者、水の事故等の事件や事故にも巻き込まれず安全に過ごすことを祈念しています。

4月より3か月間、子供たちが大きな怪我・事故等なく過ごせましたのはセーフティウォッチャーの皆様・地域の皆様・PTAの皆様の見守りのお陰です。心より感謝申し上げます。